

令和7年度 東京都立芦花高等学校 学校経営報告

7年度の経営目標	実施内容等
1 学習指導の 充実	<p>東京都教育委員会から進学指導研究校第四期の1年目として、進学指導力、学習指導力、授業力の向上に組織的・計画的に取り組み、生徒の学力及び進学実績の向上を図った。また、東京都教育委員会から海外学校間交流推進校の指定を受け、国際理解教育、国際交流の推進を行った。</p> <p>① 年間指導計画に基づき、目標設定を明確にした授業を計画的に行った。</p> <p>② 生徒による授業評価及び学校評価結果を踏まえ、授業改善に取り組んだ。</p> <p>③ 年間6回の学力テスト（外部模試）及び年間5回の学力テスト分析会、通年の教科会の実施を通して、学習指導の成果検証及び学力向上策の具体化を行い、授業及び指導方法の改善に生かした。</p> <p>④ 夏季休業日中の講習54講座（夏季集中型学力向上講習を含む）、通年の放課後及び土曜講習を計画的に実施し、大学入試を意図した学力向上及び団体戦の意識向上を図った。</p> <p>⑤ 3年次生を対象に、予備校本校での予備校講師による夏季講習（国語・数学・英語）を実施し、学力及び志気の向上に努めた。また、予備校講師の授業見学を通して、教員の授業力向上に役立てた。</p> <p>⑥ 生徒の主体的で対話的な深い学びの授業実践が普及しつつある。高大接続改革に的確に対応するため、更なる普及推進を図っていく。</p> <p>⑦ 自習室及び2階ラウンジ、講義室、ゼミ室を平日は8:00から18:30まで開室し、校内の自学自習環境を整えた。</p> <p>⑧ 現行学習指導要領実施に伴い観点別学習状況評価を適正に実施するため、指導と評価の一体化を図るための手順及び方法を確立している。</p> <p>⑨ 一人1台端末、Teamsの導入に伴い、ICTを活用したオンライン学習や反転授業の工夫、学習課題の配信等、新しい指導方法の研究・開発を行うとともに、校内研修を通して校内への普及推進を図った。</p> <p>⑩ 指導教諭による模範授業、指名制による授業研究、中部学校経営支援センター管内授業参観プログラムに参加し、校内での還元研修実施を通して、教科指導力の向上に組織的に取り組んだ。</p> <p>⑪ 初任者研修等及び中堅教諭等資質向上研修に伴う研究授業を16回実施し、授業力向上を図るための相互参観の機会とした。</p> <p>⑫ 国際理解教育、国際交流の推進として、姉妹校のマレーシアのマラッカ高等国民学校を訪問、東京グローバルフレンドシッププログラム（夏季）でフィンランドの高校生徒の交流、都立高校生等の海外派遣研修で代表生徒をフィンランドに派遣、韓国の高中生徒の交流等を行った。また、新1年次生に向けて大韓民国研修の計画を立て、実施に向けての取組を行っている。</p>
2 進路指導の 充実	<p>進路指導計画に基づき、キャリアガイダンス部、学年、教科が協働し、進路指導に計画的に取り組み、生徒の志気及び進学実績の向上を図った。</p> <p>① 大学生（教育実習生）による学部・学科プレゼンテーション、探究学習等の実施を通して将来の在り方生き方を考えさせるなど、キャリア教育の充実に努めた。</p> <p>② 3年次生を対象とした大学別説明会を6月に開催し、各大学の特色及び入試状況について生徒の理解を深めるとともに、進路希望実現に向けたモチベーションアップにつなげた。（参加大学：私立大19校）</p> <p>③ 1・2年次生を対象とした大学出張講義を6月に開催し、大学の講義受講を通して、将来の在り方生き方や高校卒業後の進路を見つめ、自らが志望する大学や専門とする分野等について考えを深める契機とした。（講義：国公立大2校、私立大11校）</p> <p>④ 予備校から講師を招へいし、1・2・3年次生対象の進路ガイダンスを年間7回実施し、大学入試情報、効果的な勉強方法、志望校決定の方法等の話題提供を通して、進路意識の啓発を図った。</p>

	<p>⑤ 年間6回の学力テスト（外部模試）及び学力分析会の実施を通して、生徒一人一人の学力状況を把握し、進路支援に生かした。</p> <p>⑥ 面接週間等を通しての二者・三者面談、キャリアガイダンス部による進路相談等を活用し、進路情報の提供及び進路相談の充実に努め、進路希望実現を支援した。</p> <p>⑦ 8月に実施した夏季集中型学力向上講習（1・2年次生対象）、通年の学年集会、進路指導会、卒業生の合格体験談を聞く会等を通して、進路意識の醸成、団体戦の意識高揚に努めた。</p>
<p>3 生活指導の 充実</p>	<p>① スクールカウンセラーによる新入生全員面接に加え、教育相談部会を年間11回開催し、いじめや不登校等の未然防止及び心の悩み相談に組織的・計画的に取り組むなど、相談機能の充実に努めた。</p> <p>② 保健講話として、専門医派遣事業による産婦人科医講演会（2年次対象）を実施するとともに、コミュニケーションアシスト講座の受講機会提供を通して、心身の健康の保持増進に努めた。</p> <p>③ 1年次生を対象としたセーフティ教室を4月に実施し、「情報モラルとインターネット活用」について理解を深めた。また、2年次生対象は3月に実施し、「薬物乱用防止」について理解を深めた。</p> <p>④ 「学校いじめ防止基本方針」に基づき、いじめアンケートを年間3回実施し、いじめの早期発見及び未然防止に努めた。</p> <p>⑤ 年間4回の避難訓練（地震・火災等）を実施した。</p> <p>⑥ 校内での挨拶励行、生徒会役員等による挨拶運動、ノーチャイム制による時間の自己管理、授業の開始終了時刻遵守による生活規律確立に組織的に取り組んだ。</p> <p>⑦ 教職員を対象とした校内研修を年間4回実施し、人権尊重の精神及びコンプライアンスの徹底を図るとともに、体罰・暴言等の服務事故防止について共通理解を深めた。</p> <p>⑧ コンディショレポーターを用いた健康観察結果集計システムを活用して、生徒の発熱等の状況を把握し、心身の健康の保持増進に努めた。</p>
<p>4 特別活動、 部活動の充実</p>	<p>① 体育の授業における体幹トレーニング（一校一取組）を継続し、心身の健康の保持増進、体力の維持向上を図るとともに、部活動の活性化に取り組んだ。エンジョイスポーツプロジェクトの取組として、ボクササイズ、ダンス、アルティメット、器械体操、フィジカルトレーニング、タッチラグビー、ダブルダッチなど運動・スポーツに関する指導を60時間実施、栄養、熱中症対策、コミュニケーション力、緊張との向き合い方、生活習慣予防、スポーツ理論、睡眠など健康に関する指導を30時間実施し、元アスリートや日本代表監督・コーチなどが技術指導し、スポーツへの興味関心や身体を動かす楽しみの育成ができた。全校生徒の部活動加入率は83%であった。</p> <p>・弓道部…4月に開催された「関東高等学校弓道大会東京都予選大会」女子の部で団体優勝、個人準優勝・第4位に入賞し、山梨県で行われた「関東高等学校弓道大会」で団体第3位、個人優勝・第4位への入賞ならびに団体と個人2名で技能優秀賞を獲得した。6月の「東京都総合体育大会」男子の部で団体準優勝、女子の部で団体第3位、個人優勝となり、女子個人が8月に鳥取県で行われた「全国総合体育大会（インターハイ）」に出場し、第3位に入賞した。同じく8月に行われた「東京都個人選手権大会」で女子個人で優勝・準優勝、9月の「関東高等学校弓道個人選手権大会」に2名出場した。10月の「東京都秋季大会」では男子の部で団体第3位、個人準優勝、女子の部で団体優勝、個人第3位・第4位に入賞し、「関東高等学校弓道選抜大会」に男子団体、男子個人1名、女子団体、女子個人2名が、「全国高等学校弓道選抜大会」に男子個人1名、女子団体、女子個人1名が、出場権を獲得した。11月に群馬県で行われた「関東高等学校弓道選抜大会」では、女子団体がベスト8、12月に静岡県で行われた「全国高等学校弓道選抜大会」では女子団体がベスト16という結果であった。1月の「東京都新人大会」では女子団体第3位、女子個人優勝となり、3月に茨城県で行われた「東日本高等</p>

	<p>学校弓道大会」に女子団体で出場した。また、「国民スポーツ大会」少年の部の男女各3名ずつで構成される東京代表チームにも女子1名が選出された。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陸上競技部…5月に開催された第78回東京都高等学校陸上競技選手権大会 女子400M走、男子やり投げで入賞し、6月の令和7年度関東高等学校陸上競技大会に、2種目出場することができた。9月の東京都高等学校新人陸上競技対抗選手権大会、女子400M走、女子走り幅跳びで入賞し、10月の関東新人陸上競技選手権大会に、女子400M走は6位入賞することができた。また10月のU18日本選手権陸上競技大会に、男子やり投げで出場するなど、全国大会に2年連続で出場することができた。 <p>② 体育祭は6月に全校で実施、けやき祭（文化祭）は9月に開催、合唱祭は3月に開催となった。</p>
<p>5 関係諸機関との連携・学校PR</p>	<p>① 1年生は「人間と社会」（総合的な探究の時間で代替）における活動として、学校安全計画の全体計画に基づき、世田谷区地域振興課、世田谷ボランティア協会、と連携した防災訓練を実施した。また、所轄消防署による防災講話（身近な防災）、東京都総務局による東京マイ・タイムラインセミナーを実施し、マイ・タイムライン作成を通して、災害時に自分自身がとる標準的な防災行動について実践的に学習した。</p> <p>③ 夏季休業日中のオープンスクール、学校見学会、4回の学校説明会、都立高校等合同説明会等を実施し、延べ9,859人の参加者数があった。</p> <p>④ ホームページを年間約180回更新し、本校の教育活動の様子を、中学生をはじめ広く都民に発信した。</p> <p>⑤ 教育活動の様子を来校者に紹介するため、美術、書道、写真部作品等の校内展示を常時行った。</p> <p>⑥ 世田谷区役所との連携事業「千歳烏山駅前再開発事業ちとからまちづくりフォーラム」への生徒会生徒の共同参画を行い、アイデアを提案した後、地域の方たちとの意見交換会で高校生からみたまちづくりの意見を出した。</p>

7年度の主な学校説明会等の来校者数

① オープンスクール(7.19)……………752人	② オープンスクール(8.23) …………… 412人
② 夏季休業日中の学校見学会……………1,466人	④ 第1回学校説明会(10.18) ……………724人
⑤ 第2回学校説明会(11.15)…………… 482人	⑥ 都立高校等合同説明会(7.26)…………… 380人
⑦ 第3回学校説明会(12.13) …………… 216人	⑧ 都立高校等合同説明会2部(8.9)…………… 238人

7年度の数値目標

7年度の実績

<p>① 大学現役合格者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国公立大及び 難関私大（GMARCH） 38名以上 	<p>① 大学現役合格者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国公立大 1名 ・難関私大（早慶上理・ICU） 2名 ・難関私大（GMARCH） 25名 ・中堅私大（成成明國武） 24名 （日東駒専） 83名
<p>② 学校評価における肯定的評価（学習指導、生活指導、進路指導） 90%以上</p>	<p>② 学校評価における肯定的評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習指導(授業) 86% ・生活指導(生徒学校満足度) 92% ・進路指導(生徒・保護者満足度) 89%
<p>③ 部活動加入率 85%以上</p>	<p>③ 部活動加入率 83%</p>
<p>④ 入学者選抜応募倍率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦に基づく選抜 2.9倍以上 ・第一次募集 2.1倍以上 	<p>④ 入学者選抜応募倍率</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推薦に基づく選抜 1.88倍 ・第一次募集 1.46倍
<p>⑤ 東京都体力・運動能力調査の体力合計点の平均値東京都平均以上</p>	<p>⑤ 東京都体力・運動能力調査の体力合計点の平均値は、男子、女子ともに東京都平均とほぼ同じ。</p>
<p>⑥ 部活動で関東大会レベル出場数7以上</p>	<p>⑥ 弓道部、陸上競技部の2部が8回出場。</p>

翌年度以降の課題と改善策

- グランドデザイン、スクール・ミッション、グラデュエーション・ポリシー、カリキュラム・ポリシーに基づき、本校が育みたい生徒像及び育成すべき資質・能力を明確にした教育活動を推進している。今後は教育活動の全体構想に当たるグランドデザイン具現のための方策（教育課程、学習・進路指導）を工夫・改善し、学力向上及びキャリア教育の充実に取り組んでいく。
- 進学指導研究校として、教育庁指導部特任教授の学校訪問や指名制による授業研究参加等で得た知見を生かした実践に基づく分析・検討・改善が、教科単位で定着し、進学実績向上につなげた。学力テストごとに数値目標を設定し、そこから遡って授業の目標設定を明確にするなど、引き続き学習指導をより効果的な取組に高めていく必要がある。また、高大接続改革に伴う大学入試改革を踏まえ、学力の3要素をバランスよく育むため、新傾向問題への習熟や探究活動への取組を充実させる必要がある。
- 進路指導では、大学出張講義、大学別説明会を計画的に実施することができた。総合的な探究の時間の改定を行い、検証をしながら、キャリア教育の更なる充実を図り、学びへの探究心を高めていきたい。
- スクールカウンセラーによる教育相談件数が年間 547 回に上るなど、生徒・保護者のニーズに対応してきた。保健講話の実施に加え、相談機能の充実に係る取組を引き続き強化していく。
- 本校への志望者数を増やすためホームページの充実をはじめとする募集対策活動に力を入れ、入学者選抜における応募倍率の向上を図った。
- 学校評価アンケートにおける生徒の学校満足度は 92%であった。生徒や保護者のニーズや期待を真摯に受け止めるとともに芦花高校の更なる魅力を創出し、CS (Customer Satisfaction) の向上につなげる教育活動を、引き続き推進していく。